

# フランソア喫茶室

—京都に残る豪華客船公室の面影—

M E N U



**SALON DE THÉ FRANÇOIS**

藤田嗣治画：1934年フランソア創業時のメニュー表紙。(今井香子氏提供) /  
Illustration for menu of Salon de the François by Tsuguharu Fujita, 1934. (By Kyoko Imai)

友よ香りゆかしき 乙女ならずや

我もまた真<sup>まこと</sup>もつ 乙女ならずや

さらば恋せよ 自由の園に

希望と喜びの 花ぞ開かん

(木下忠司作)

## はじめに

京都の繁華街・四条河原町から一筋東へ行き、高瀬川に沿って木屋町通りを少しだけ下ると、「フランソア喫茶室」がある。幅が半軒にも満たない小さな扉を押して中に入り、薄暗い玄関を通り過ぎると、柔らかな光に包まれた客室にたどり着く。そのイタリアン・バロック様式の客室の上には、驚くほど大きな円天井が戴かれている。店の小振りな外観からはとても想像できない豊かな空間である。

一九三四年に創業されたフランソア喫茶室は、戦時中の休店時を除いて七〇年以上にわたり、学生、教員、芸術家、文学者などに愛されてきた。店内が現在のイタリアン・バロック様式に改装されたのは一九四一年のことで、京都帝国大学文学部の留学生・アレックス・ドロー・ベンチヴェンニと、画家・高木四郎が共同でデザインした。豪華客船公室を模したこの美しいインテリアは、二〇〇二年に国登録有形文化財に指定されている。

本稿は、「フランソア喫茶室」の創業前夜から第二次世界大戦終結まで、およそ二〇年間の出来事を中心に記している。また、副題に「豪華客船公室の面影」とあるように、当時の豪華客船に関連する出来事についても記述している。

本稿には、二人の主人公が登場する。

一人目の主人公はフランソア喫茶室のものである。昭和初期、

労働運動家である立野正一が、啓蒙と抵抗の拠点として設立したこの喫茶室は、反ファシズム新聞「土曜日」の編集・頒布を支援したことで知られる。立野が弾圧を受けた時には、店員であった佐藤留志子が店を支えた。

二人目の主人公は、「コンテ・ヴェルデ号」というイタリアの客船である。一九二三年、コンテ・ヴェルデ号は船舶史上例を見ない豪華さを誇る客船として大西洋航路に就航した。一九三二年に極東航路へ配転した後、第二次大戦中に日本軍に接収される。そして一九四五年、京都・舞鶴で空襲を受けて沈没した。

コンテ・ヴェルデ号の船内装飾が、必ずしもフランソアの直接のモデルとなったわけではない。しかし同船の公室インテリアは、イタリア歴史様式で統一され、フランソアの装飾を考える上で大いに参考になる。ベンチヴェンニの友人は実際に同船に乗船している。或いはベンチヴェンニ自身も乗船したかもしれない。

コンテ・ヴェルデ号とフランソア喫茶室は、いずれも第一次世界大戦後に誕生し、その初期には自由な空気を運び、やがてファシズムや軍国主義の嵐に圧迫された。コンテ・ヴェルデ号は戦没したが、フランソアは生き延び、往時の豪華客船公室の面影を今に伝えている。

一隻のイタリア客船に乗り組んだ乗客と船員達、そして京都の一喫茶店にかかわった労働運動家、学者、芸術家達。彼らの人生を辿りながら、今日ではほとんど忘れ去られた戦前の客船の面影と、京都という街の一断面を見つめたいと思う。

# フランソア喫茶室

―京都に残る豪華客船公室の面影―

## 目次

### 第一章 コンテ・ヴェルデ号

コンテ・ヴェルデ号	一
リソルジメント―イタリア解放運動	六
ファシズムとイタリア移民	九
ジョゼフィン・ベーカーとコンテ・ヴェルデ号	一四

### 第二章 立野正一

第一次世界大戦後の京都	一九
立野正一	二二
友仙争議	二七
総評解体	三三

京都消費組合	三六
大塚と河上の逮捕	三九

### 第三章 フランソア喫茶室創業

瀧川事件と中井正一	四六
共産党と全協の衰微	五〇
フランソア喫茶室創業と佐藤留志子	五四
「京都スタヂオ通信」と「土曜日」	四七
弾圧	五八

### 第四章 ベンチヴェンニ

コンテ・ヴェルデ号の極東就航	七四
失われた地平線	七八
アレッサンドロ・ベンチヴェンニ	八〇
フォスコ・マライーニ	八二
ベンチヴェンニの仏教への傾倒	八五
獄中	八七
フランソア喫茶室の改装	九一

## 第五章 流離の人々

一月ポグロム	一〇一
ユダヤ人の国外脱出	一〇三
ディアスポラ——流離の人々	一一〇
イタリヤ人抑留	一一五
学徒出陣と疎開	一二〇

## 第六章 豪華客船公室の面影

コンテ・ヴェルデ号の最期	一二六
ジョヴァンニ・ジョッタの闘い	一三一
敗戦とフランソアの営業再開	一三四
豪華客船公室の面影	一三八

謝辞	一四五
参考文献一覧	一四六
参考ウェブサイト・メディア一覧	一四九